



調査	吉田	承認		尺度	1/40	重量		東急車輛製造株式会社
図		指	小林	東急 TD332A2 改			TY-3901592	
		差		セミトレーラ 外觀四面図				

13792

東急車輛製造株式会社 殿

昭和 年 月 日

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

主要諸元比較表

(改造) 試作、組立

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		普通貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車両重量 kg	10800	11520	—	車名	東急	←	—	
乗車定員人			—	型式	TD332A2	TD332A2*	—	
最大積重量 kg	33000	←	—	形状	セミトレーラ	←	—	
車両総重量 kg	43800	44520	≦ 20 t ( )	原動機の型式			—	
長さ m	11.990	11.690	≦ 12	総排気量 l			—	
幅 m	2.990	←	≦ 2.5	燃料の種類	340G+2008906+200		—	
高さ m	1.680	←	≦ 3.8	軸距 m	=1.0600	=1.0100	—	
室内又は荷台の内側の寸法 m	長さ	6.300	5.800	—	最小回転半径 m	*	11.5	≦ 12
	幅	2.990	←	—	オーバーハング ボデー後端まで	0.940	1.100	④ 1.100 (5.050)
空車時 荷重分布 kg	前	3790	3920	—	荷台オフセット m	4.250	4.000	—
	後	3505	3800	—	タイヤ 前			—
積車時 荷重分布 kg	前	17820	17810	≦ 10 t	後			—
	後	12990	13355	≦ 10 t	サイズ	R.25-16-14PRLT R.25R16-14PRLT R.25-16-14PRLT R.25R16-14PRLT		—
積載時前輪 荷重割合 %	前			積車時 タイヤ 荷重割合 %	前			≦ 100
	後			後	95.8	98.5		
傾斜角度 °	左			最大安定 傾斜角度 °	左	57	*	一般 ③ (30)
	右			右	57	*		
制動能力	踏力 kg			車わく強度	$\sigma_s/\sigma = 5000/651 \times 25 = 2.3 > 1.6$			
	空気圧 kg/cm <sup>2</sup>			車軸強度	= 改造無し =			
操縦性能	回転数 Nc/N=	/	=	操縦装置	= 改造無し =			
	強度 $\sigma_s/T=$	/	=	懸架装置	= 改造無し =			
検査等検討				制動装置	= 改造無し =			
				連結装置	= 改造無し =			

注1. 主要諸元比較表右欄( )内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。  
 注2. 能力強度等検討欄に必要としないものは、省略したものは×を記入すること。  
 注3. ※印はリアソン P-CW67GT 型トラクタと連結時の計算値を示す

改造概要説明書

目的	積載物に合わせて荷台面積を縮小(6300mm×2990mm → 5800mm×2990mm)するとともに後部フレームは160mm延長して塔載物品の上下降を容易にする
車体	
軸距	10600mm → 10100mmに(500mm)短縮する
輪距	改造無し
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	改造無し 但しタイヤを変更する。8.25-16-14PRLT → 8.25R16-14PRLT
操縦装置	
制動装置	改造無し
懸架装置	改造無し
連結装置	改造無し
車わく	荷台部主フレームは先端を500mm短縮し、フレーム後部は側面後面後部を160mm延長する
その他	本トレーラは東急TD332A2型セミトレーラ、類別110(58新設車才73号)の1部を改造するものである

(A列3番)

(社団法人 日本自動車工業会)

13792